

資 料 提 供
令和 6 年 10 月 16 日

課 名 水産課
担当者 横内
電 話 082-513-3610 (直通)
内 線 3609

県東部海域における赤潮警報及び赤潮注意報の解除

県東部海域で発生していたシャットネラ属及びカレニア・ミキモトイによる赤潮が終息したため、県東部海域に発令していたすべての警報及び注意報を解除します。

なお、この赤潮による漁業被害の報告はありません。

1 解除日

令和 6 年 10 月 16 (水)

2 解除する警報及び注意報

発令海域	区分	対象プランクトン	発令期間	備考
県東部海域	注意報第 1 号	シャットネラ属	6 月 25 日から 10 月 15 日まで	7 月 25 日に注意報第 1 号から 警報第 1 号に切替
	警報第 1 号			
	注意報第 2 号	カレニア・ミキモトイ	7 月 25 日から 10 月 15 日まで	

3 解除する理由

県東部海域のプランクトン及び海域調査の結果、終息したと判断したため。

4 プランクトン及び海域調査日

県東部海域：令和 6 年 10 月 11 日 (金)

5 調査機関

県立総合技術研究所 水産海洋技術センター (呉市音戸町)

6 魚類養殖場の被害

報告なし

7 県内で発令中の注意報・警報

発令月日	区分	対象プランクトン	対象海域	備考
8 月 1 日	注意報第 3 号	カレニア・ミキモトイ	県西部海域	継続中

※広島県のホームページ「赤潮情報」

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/88/1170324265768.html>

プランクトン調査結果（東部海域）

調査日 令和6年10月11日

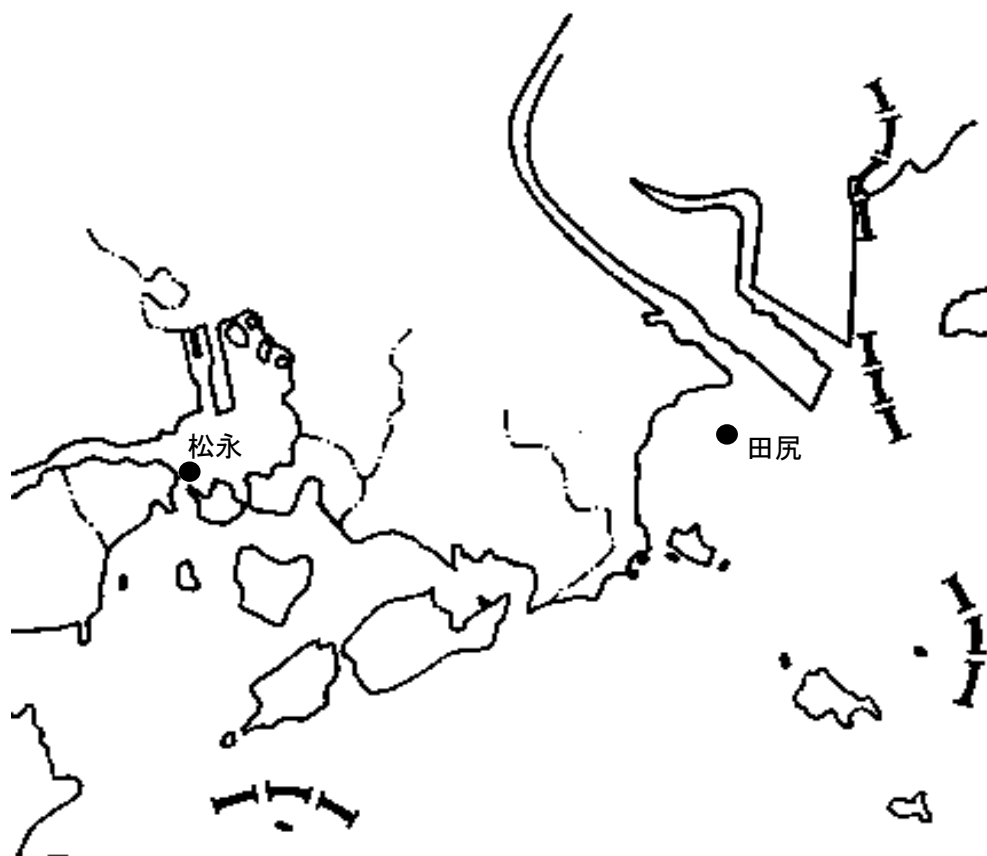
調査機関 県立総合技術研究所 水産海洋技術センター

シャットネラ属 (細胞数/ml)

水深	松永	田尻
0m	0.00	0.00
5m	0.00	0.00
B-1m	0.00	0.00

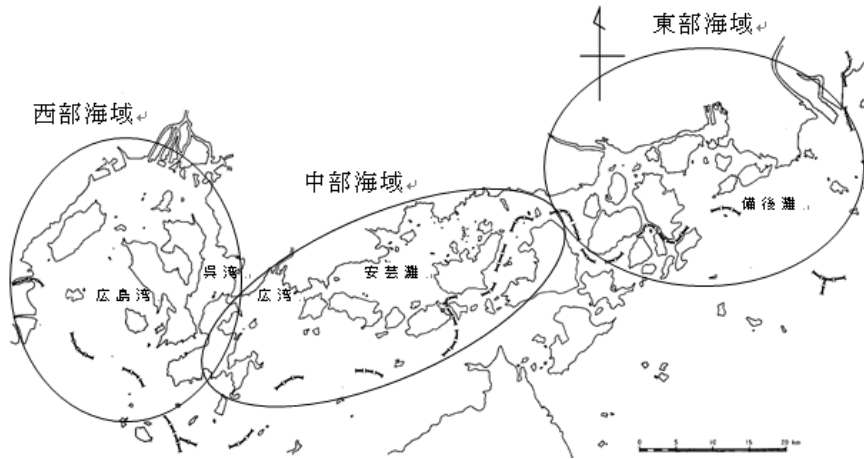
カレニア・ミキモトイ (細胞数/ml)

水深	松永	田尻
0m	0.00	0.00
5m	0.00	0.00
B-1m	0.00	0.00



参 考 資 料

1 海域概要



2 赤潮の種類

(1) シャットネラ赤潮について

海産ラフィド藻の一種であり、赤潮の原因藻類の一つである。大きさは数十ミクロン程度で、海水温 20～30℃ になる夏場に増殖し赤潮となり、数百細胞/ml を超えるレベル（警報レベル）になると、魚類のへい死を引き起こす危険性がある。（右の図1はシャットネラ・アンティーカの顕微鏡写真）



図 1

(2) カレニア・ミキモトイ赤潮について

西日本を中心に広く分布する渦鞭毛藻類で、長崎県の大村湾で確認された、赤潮の代表的な原因藻類である。

大きさは数十ミクロン程度で、回転しながらひらひら泳ぐ。夏場に増殖し、赤潮となり、数千細胞/ml を超えると魚類のへい死を引き起こす危険性がある。過去に、瀬戸内海でも大きな漁業被害を引き起こした。（右の図2はその電子顕微鏡写真）

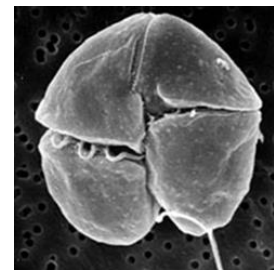


図 2

3 昨年度（令和5年度）の赤潮注意報・警報の発令状況

発令月日	区分	対象プランクトン	対象海域	備考
6月29日	注意報第1号	シャットネラ属	県東部海域	7月12日に警報第1号に切替
7月12日	警報第1号			
8月2日	注意報第2号	シャットネラ属	県西部海域	
8月3日	注意報第3号	コクロテニウム・ポリクリコテニス カレニア・ミキモトイ	県東部海域	8月7日にカレニア・ミキモトイを追加
8月24日	警報第2号	カレニア・ミキモトイ	県西部海域	
9月15日	注意報第4号	コクロテニウム・ポリクリコテニス	県西部海域	

補足：県東部海域（警報第1号、注意報第3号）は9月6日、県西部海域（注意報第2号、警報第2号、注意報第4号）は10月3日に解除